Panasonic

小電力型 ワイヤレスコール

# 熱線センサー発信器セット

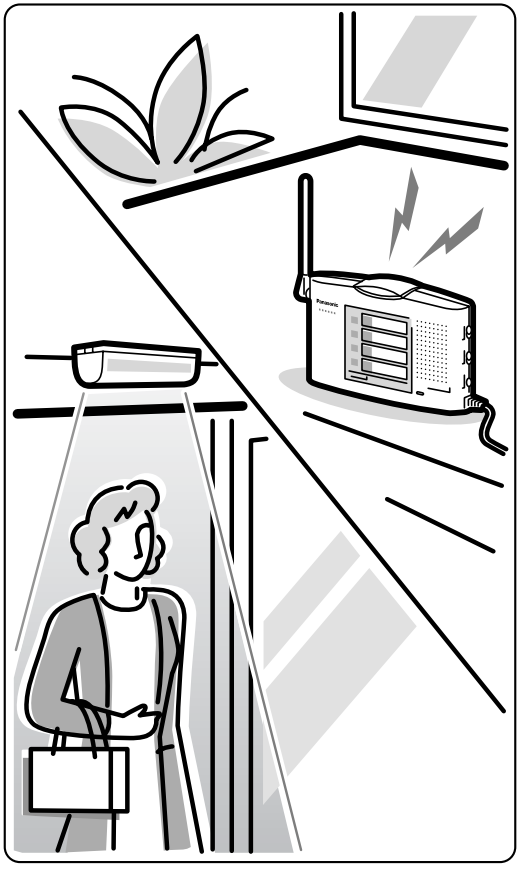
（卓上受信器、熱線センサー発信器のセット）

品番 ECE158

## 取扱説明書

●このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。**ご使用前に「安全上のご注意」（1~2ページ）を必ずお読みください。**
●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
●万一、取扱説明書にしたがわず使用された場合の故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

保証書別添付　施工説明付き



## ご使用前に

●この商品は、受信器と発信器を組み合わせて使用することにより、各発信器からの呼び出しを受信器側の光と報知音で知らせる商品です。なお、この商品は電波法で認められた「特定小電力の無線設備（テレメータ用およびテレコントロール用）」です。

**●この商品は報知・連絡用であり生命救済、犯罪防止を目的にした機器ではありません。**

**●受信器や発信器を追加される場合は必ず 小電力型ワイヤレスシリーズ（ECE品番） と組み合わせて使用してください。**

### セット（ECE158）内容

●受信器（ECE1601P）……1台
●発信器（ECE1801P）……1台
●取付木ネジ（4×25）……2本
●ネームシール（受信器用）……1枚
●異常時の点検一覧表……1枚
●パナソニック電工
　お客様ご相談窓口のご案内……1枚
●取扱説明書（本紙）……1冊
●保証書……1枚

## 安全上のご注意

### 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

**■誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を区分して、説明しています。**

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。 |
| ⚠注意 | 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

**■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）**

| | | | |
|---|---|---|---|
| ⃠ | してはいけない内容です。 | ❗ | 実行しなければならない内容です。 |

#### ⚠警告

| | |
|---|---|
| 分解禁止 | **絶対に分解したり、修理・改造しない。**<br>感電の原因となります。 |
| 必ず守る | **万一、異常が発生したら電源プラグをコンセントから抜く。**<br>そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 |
| | **電源プラグは根元まで確実に差し込む。**<br>差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。<br>傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。 |
| | **電源プラグのホコリなどは定期的に取る。**<br>プラグにホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。 |
| 禁止 | **電源コード・プラグを破損するようなことはしない。**<br>〔傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。〕<br>傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。<br>コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。 |
| ぬれ手禁止 | **ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。**<br>感電の原因となります。 |

#### ⚠注意

| | |
|---|---|
| 必ず守る | **乾電池は極性に注意して表示通りに入れる。**<br>極性を間違えると、乾電池の破裂や液もれの原因となります。 |
| | **乾電池を交換する際は、2本とも新しい乾電池と交換する。**<br>新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、乾電池の破裂や液もれの原因となります。 |
| | **確実に固定する。**<br>固定に不備があると、落下によりけがをしたり、床面にキズをつけるおそれがあります。 |

## もくじ


■安全上のご注意 …… 1～2
■ご 注 意 …… 3～4
■取付上のご注意 …… 5～6
■各部のなまえとはたらき …… 7～8
■お使いになる前に …… 9～14
- ●周波数チャンネルを確認する …… 9
- ●受信器にネームシールを貼り付ける …… 10
- ●発信器に乾電池を入れる …… 10
- ●受信器に発信器を登録する …… 10～14

追加登録または
報知音（用件ランプ）を変更する場合は …… 13
登録を消去するには …… 13

■発信器の取付方法 …… 15
■検知範囲の調整 …… 16
■使い方 …… 17～18
電池交換表示が出たときは …… 18
■動作確認 …… 19
■仕　様 …… 19
■保証とアフターサービス …… 20

# ご注意

■この商品は屋内で使用してください。屋外・屋側には設置しないでください。

■受信器と発信器の電波の到達距離は、障害物のない場所での水平見通し距離約40mです。

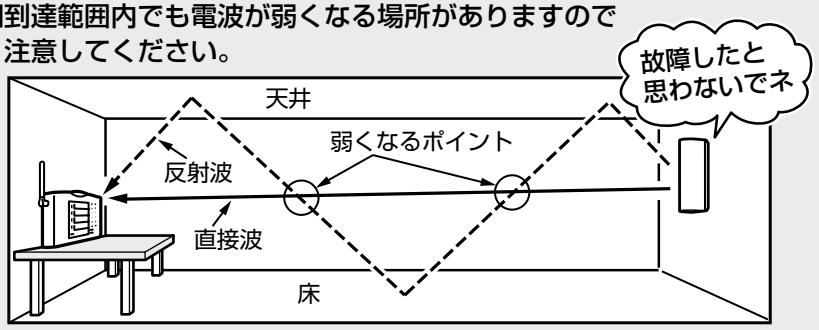
（電波が届きにくい場合は中継器（別売）をご使用になり、動作を確認してください。）

■下記のような使用環境では、電波（ノイズ）を受けたり電波の到達距離が短くなります。このような場合は、動作しないことがありますので注意してください。

（受信器のアンテナはまっすぐ立てて使用してください。）

- ●機器間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
- ●機器間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
- ●機器の周辺が金属物で囲まれている。
  （スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど）
- ●金属物の壁面に機器を取り付けている。
- ●操作する人の体の向きで電波を遮っている。
- ●電子レンジやパソコンなどの家電商品やOA機器が機器の2m以内にある。
- ●機器の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
- ●機器の近くで、携帯電話やPHS電話を使用している。
- ●機器の近く（10m以内）で、マイクロ波治療器を使用している。
- ●近くに、テレビ・ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。

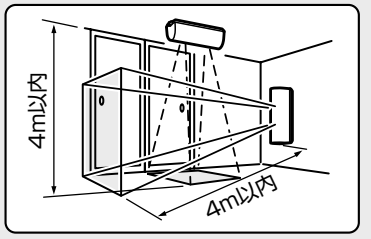
■到達範囲内でも電波が弱くなる場所がありますので注意してください。




■送信電波が医用電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため発信器は医用電気機器から20cm以上離して使用してください。



■発信器から人までの距離は4m以内で使用してください。




■雨のかかる場所や浴室など湿度の高い場所での使用はできません。

■設置場所ではあらかじめ動作確認を行ってください。設置後、使用環境（電波環境）が変わることがありますので、定期的に動作確認を行ってください。

■落としたりすると故障の原因となります。

■発信器は1度検知して送信すると約3秒経過しないと次の検知動作はしません。

■同じ周波数チャンネルであれば1台の発信器で受信器は何台でも同時に鳴らすことができます。

■受信器と発信器は50cm以上離して使用してください。

■2台以上の発信器から同時に操作すると、受信器は動作しないことがありますが、故障ではありません。

## おことわり

●発信器は、総務省の技術基準に適合しています。
商品に貼り付けられている表示（㊣マーク）は、その証明マークです。
表示マークの貼り付けられている商品は総務大臣の許可無しに改造して使用することはできません。

改造すると法律により罰せられることがあります。

## お手入れ

**●ふだんのおそうじは…**
やわらかい布でふき取ってください。

**●汚れが目立つときは…**
中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、固く絞ってふき取ってください。
噴霧式の洗剤は使わないでください。

（注）ベンジンなどは引火性があるため、使用しないでください。

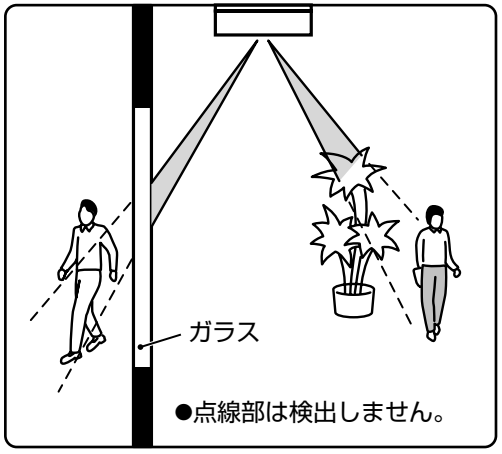
# 取付上のご注意

## ■次のような場所には取り付けないでください

**（検出しなかったり、誤動作の原因となります。）**

●熱線センサー発信器は検知範囲内の温度変化分（3°C以上）を検出する方式の商品です。何らかの要因で検知範囲内の温度が急に変わったときは誤動作をしたり、人が通っても温度変化として検出できないときは検知動作しません。

### 人の動きを検出しない場所

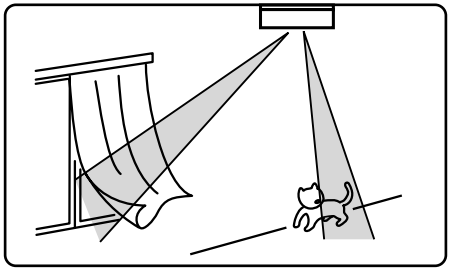



**●前面（検知範囲内）に障害物のある場所**

〔植木、ガラスなど〕

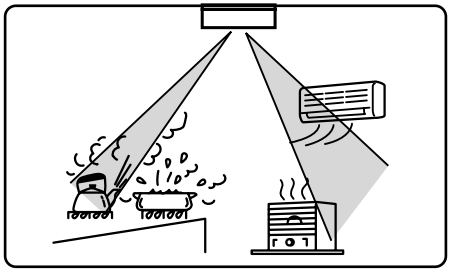
**注 ガラスは熱線は通しません。**

### 誤動作しやすい場所



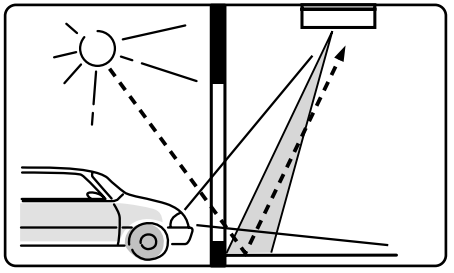
**●検知範囲内に動くものがある場所**

〔カーテン、猫、ねずみなど〕



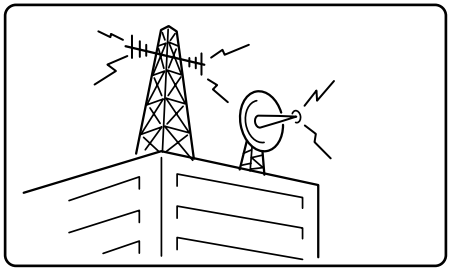
**●検知範囲内で急激な温度変化がある場所**

〔冷暖房器具、水、湯気、油、すきま風など〕



**●直射光・反射光の当たる場所**

〔太陽の反射光、夜間の自動車のヘッドライトなど〕

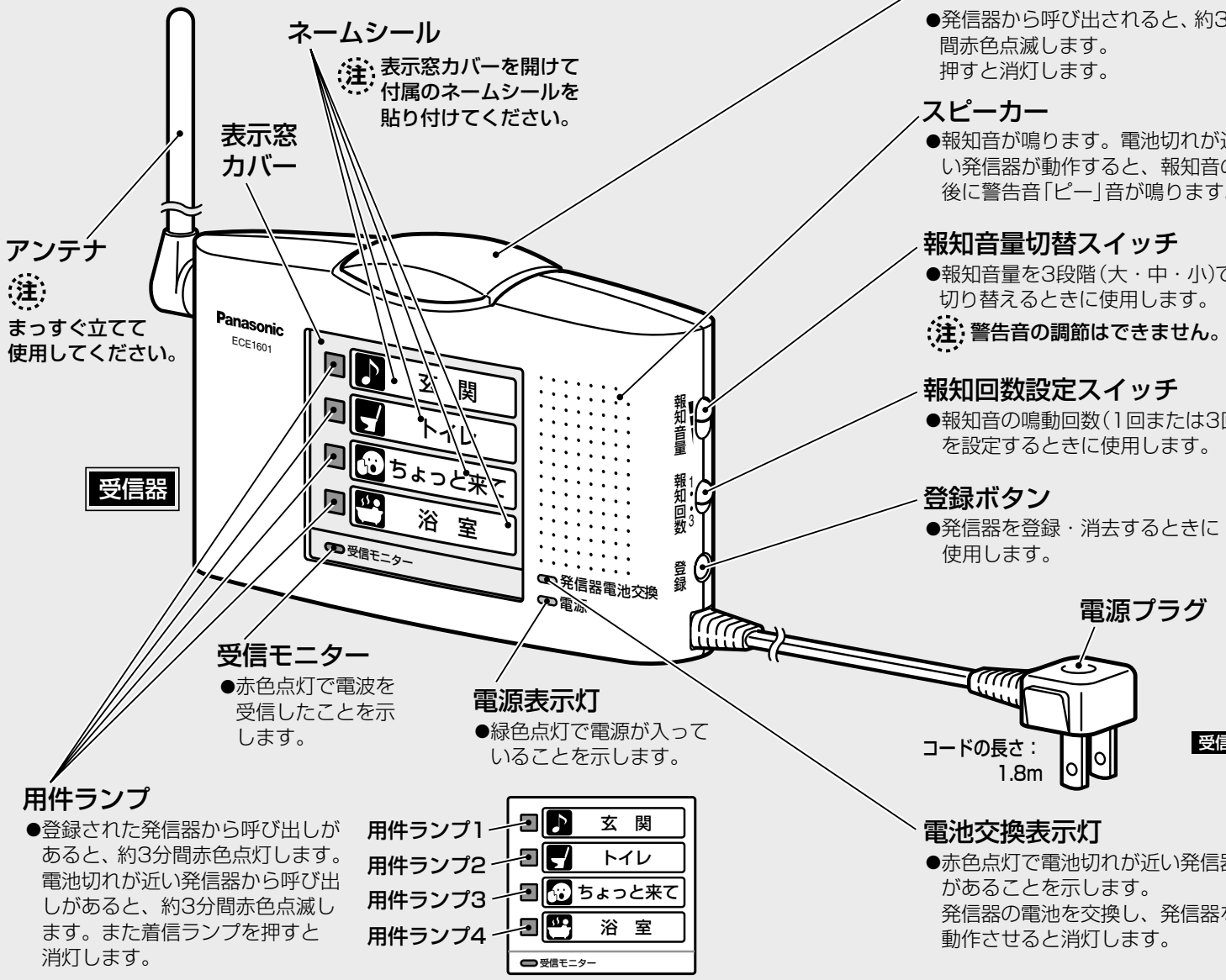


**●電気的雑音の発生源の近く**

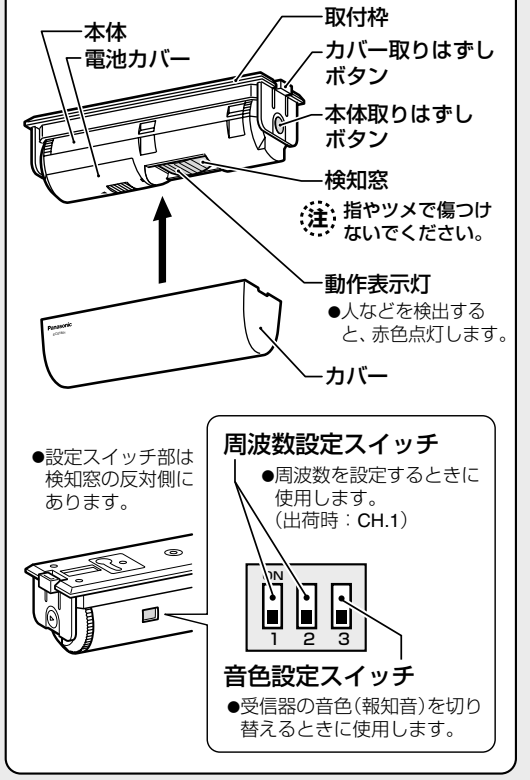
〔放送局、各種無線局、近くで携帯電話を使用している場合など〕

# 各部のなまえとはたらき

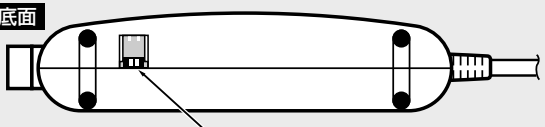
## 小電力型ワイヤレスコール 卓上受信器(受信4表示付)(ECE1601P)




## 発信器 小電力型ワイヤレスコール 熱線センサー発信器(ECE1801P)




受信器底面



周波数設定スイッチ
●周波数を設定するときに使用します。
(出荷時：CH.1)
(注) 必ず発信器と受信器の周波数チャンネルは合わせてください。

# お使いになる前に

**1** 周波数チャンネルを確認する

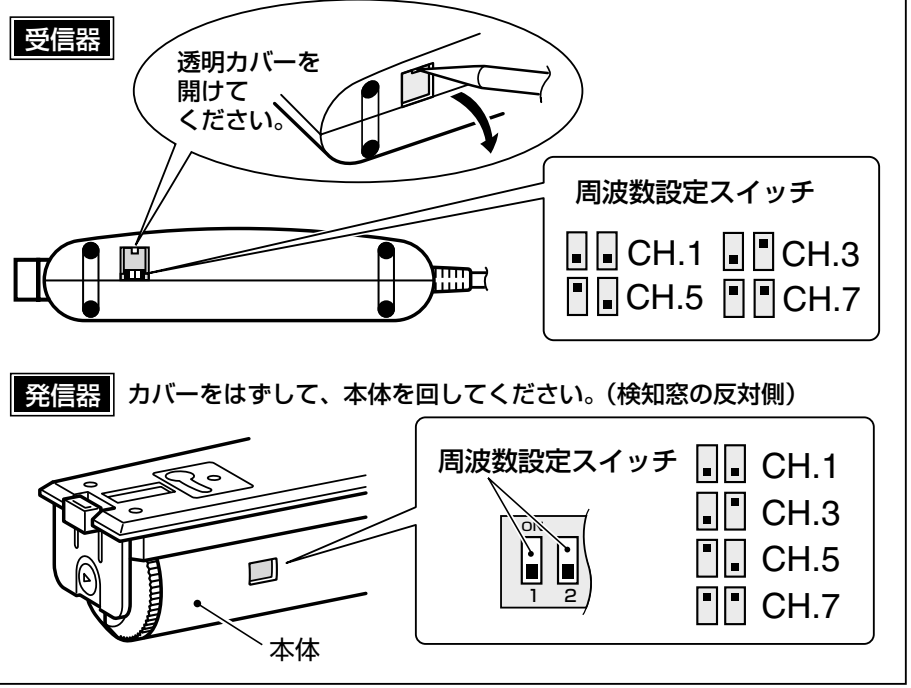
**2** 受信器にネームシールを貼り付ける

**3** 発信器に乾電池を入れる

**4** 受信器に発信器を登録する が必要です。

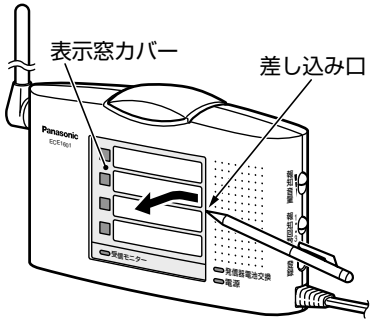
## 1 周波数チャンネルを確認する

●受信器と使用する全ての発信器の周波数チャンネルが同じであることを確認してください。違う周波数チャンネルでは動作しません。
（出荷時はCH.1に設定されています。）

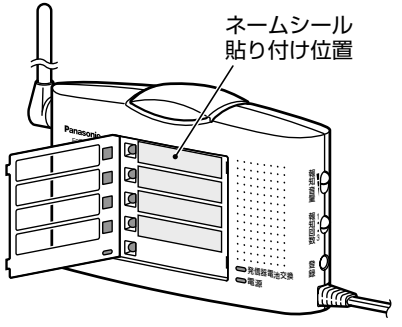



## 2 受信器にネームシールを貼り付ける

❶先の細いものを差し込み表示窓カバーを開ける。

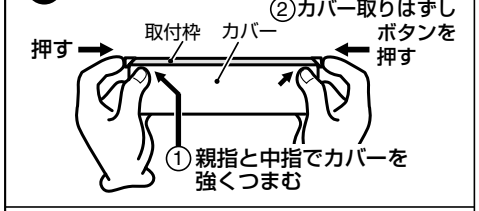



❷付属のネームシールから用途に応じてシールを作成して、貼り付ける。

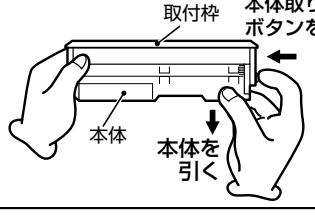



## 3 発信器に乾電池を入れる

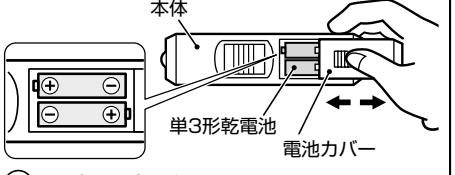
❶カバーをはずす。




❷本体をはずす。




❸単3形乾電池2本（別売）を入れる。




① 電池カバーを開ける。
② 極性を間違えないように乾電池を入れて、電池カバーを閉める。

注 ●乾電池を入れてから約1分後に正常動作となります。
●乾電池には使用期限があります。ご使用の際には乾電池に記載してある使用期限を確認してください。

## 4 受信器に発信器を登録する

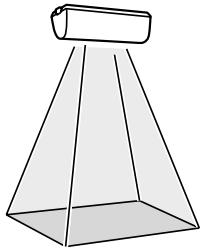
●登録は受信器の近くで行ってください。
●受信器1台に発信器は最大30台まで登録できます。
●電源プラグを抜いても登録内容は消えません。
消去する場合は13ページの「登録を消去するには」を参照してください。

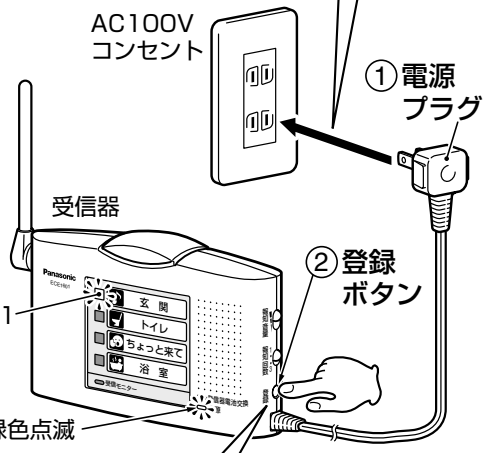
# 発信器の登録方法

## ① 差し込む

●電源表示灯が緑色点滅、
用件ランプ1が赤色点滅する。 ← **登録モード**

例）熱線センサー発信器を用件ランプ1に登録する場合






## ② 押す（用件ランプの選択）

●登録したい場所の用件ランプを赤色点滅させる。

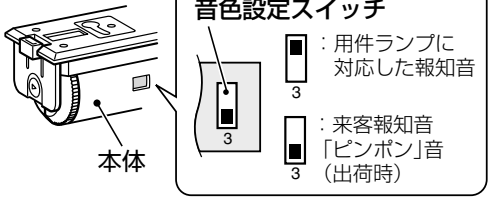
| 登録ボタンを押す回数 | 用件ランプ |
|---|---|
| ー（登録モード時） | 1が点滅 |
| 1回押すと | 2が点滅 |
| 2回押すと | 3が点滅 |
| 3回押すと | 4が点滅 |

押すごとに上記の表を繰り返します。

**注** 1台でも発信器を登録している場合は、登録ボタンを4回押すと用件ランプは消灯します。
（押すごとに左記の表と消灯を繰り返します。
ただし、消灯から用件ランプ1に戻すときには、約1秒間押し続けてください。）

### こんな使い方もできます

●報知音を受信器の用件ランプに対応した音色に変えることもできます。

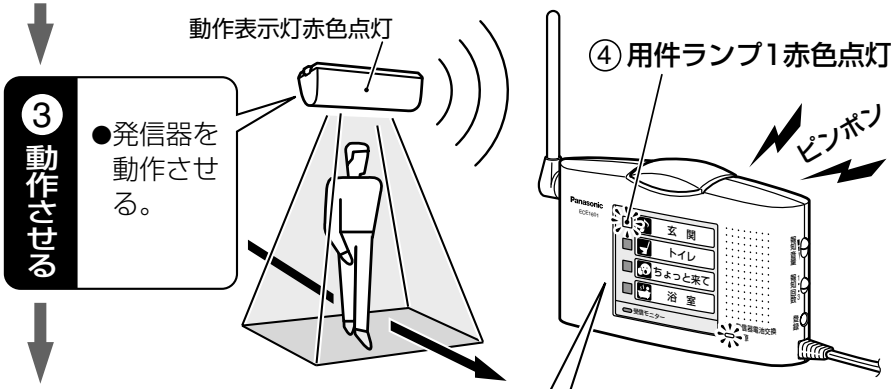



（設定スイッチ部は検知窓の反対側にあります。カバーをはずして本体を回してください。）

●登録ボタンを押して登録したい報知音の用件ランプを赤色点滅させてください。

| 用件ランプ | 報知音 |
|---|---|
| 1に登録すると | 「プルプル」音 |
| 2に登録すると | 「ブー」音 |
| 3に登録すると | 「ピピッ」音 |
| 4に登録すると | 「ポロロン」音 |






## ③ 動作させる

●発信器を動作させる。

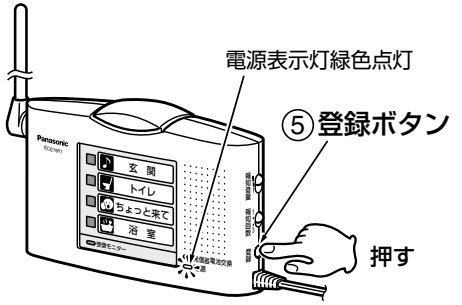
## ④ 登録される

●用件ランプ1が赤色点灯し、報知音が鳴る。

**注**
- **報知音が止まると用件ランプ1が赤色点滅し、引き続き、登録できます。 発信器を複数台登録する場合は ②、③ の操作を繰り返してください。**
- **31台目を登録しようとすると、受信器から警告音「ピッピッピッ」音が鳴り、登録できません。**
- **登録時は着信ランプは点滅しません。**

## ⑤ 登録を完了する

●登録ボタンを4回押して用件ランプを消灯させる。
●電源表示灯が緑色点灯する。




**注** **④の登録をしてから、約1分間経過すると自動的に 登録完了 します。**

## 追加登録または報知音(用件ランプ)を変更する場合は

**注** 報知音を変更する場合は、音色設定スイッチで
「用件ランプに対応した報知音」を選択する必要があります。
（11ページの「こんな使い方もできます」を参照してください。）

●登録ボタンを約1秒間押し続けて

登録モード（電源表示灯：緑色点滅 / 用件ランプ：赤色点滅）にして、11ページの

②以降の操作を行ってください。

（変更する場合は、変更前の登録を消去する必要はありません。）

## 登録を消去するには

**注** 発信器は1台ずつ個別に登録を消去することはできません。
（全消去のみです。）

1. 受信器の電源プラグを抜く。
2. 受信器の登録ボタンを押しながら電源プラグを差し込み、
受信器から「ピー」音が鳴るまで（約3秒間）押し続ける。
（登録が消去されます。）

**注** 全消去されると受信器は **登録モード** になります。



## 受信モニターの便利な使い方

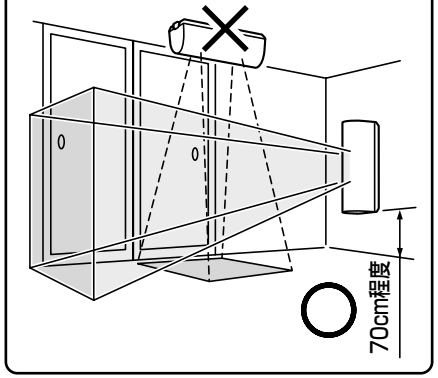
発信器を操作していないのに、受信器の受信モニターが赤色点灯・点滅する場合は、近くにある家電商品やパソコンなどのOA機器からの電波（ノイズ）を受けているか、もしくはトランシーバーや当社および他社の無線商品など、特定小電力無線設備が使用されている可能性があります。
このような場合には使用場所を変更したり、周波数チャンネルを変更して受信モニターが点灯・点滅しないようにしてください。

memo

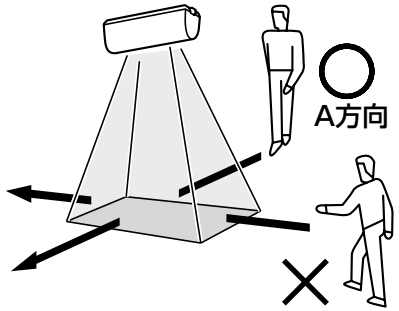
# 発信器の取付方法

●受信器・発信器の取付場所を変更したときは動作確認をしてください。

●出入口が広い（2m以上）場合、壁面に取り付けてください。




●人が検知範囲内を発信器のA方向を横断するように取り付けてください。




### ❶ カバーと本体をはずし、乾電池を入れる

●10ページの「発信器に乾電池を入れる」を参照してください。

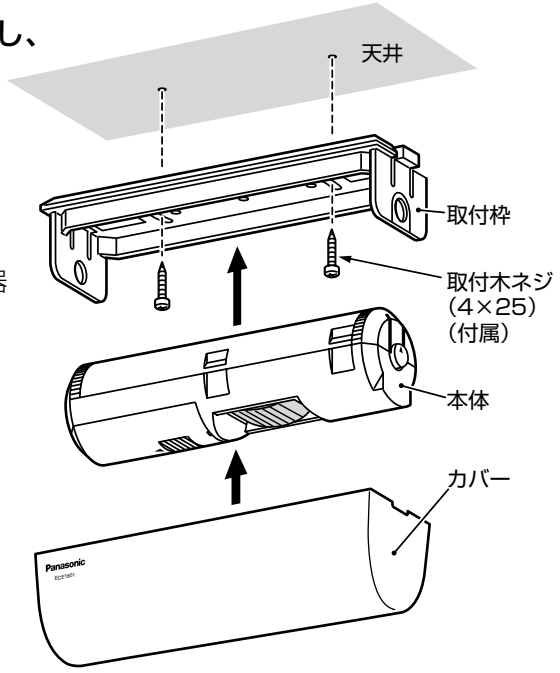
### ❷ 登録をする

●10～12ページの「受信器に発信器を登録する」を参照してください。

### ❸ 取付枠を取り付ける

（取付木ネジは最後までしっかりと締め付けてください。）

### ❹ 本体とカバーを取り付ける






# 検知範囲の調整

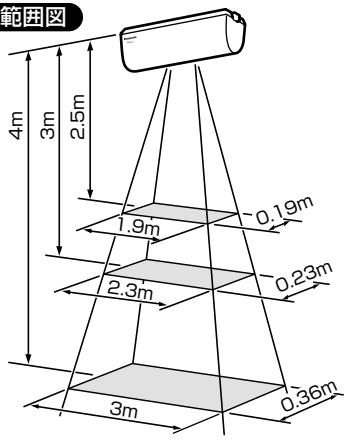
●検知範囲の調整は必ずカバーを取り付けて行ってください。

●検知範囲の確認は受信器の報知音と発信器の動作表示灯（赤色点灯）で確認してください。

●検知距離は最大4mまでです。

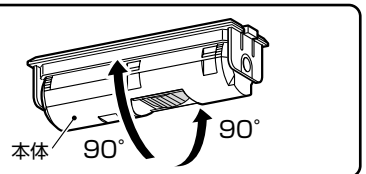
（注）右図は発信器からの距離における、検知範囲を示します。

検知範囲図




## 調整方法

### ❶ カバーをはずして本体の角度を変えて検知範囲の調整をしてください。



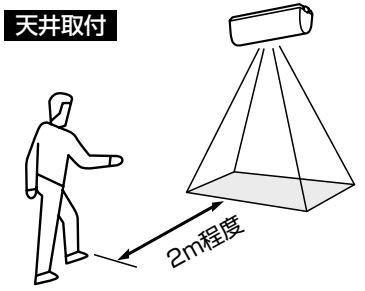

（注）角度調整後は、必ずカバーを取り付けてください。

### ❷ 検知範囲内を人が横断して正常に検出することを確認してください。（右図）

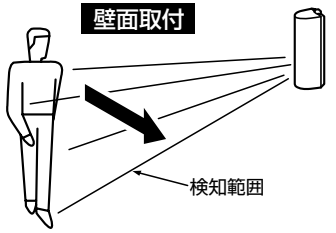
発信器の動作表示灯が赤色点灯すれば正常です。

（注）検出しようとする位置より2m程離れて検知範囲内をゆっくり歩いて、どの位置で動作するか確認して通りぬける。

天井取付




壁面取付



# 使い方

お願い　毎日、動作確認を行ってください。また発信器・受信器を落としたり強い衝撃を加えた場合は、必ず動作確認をしてください。

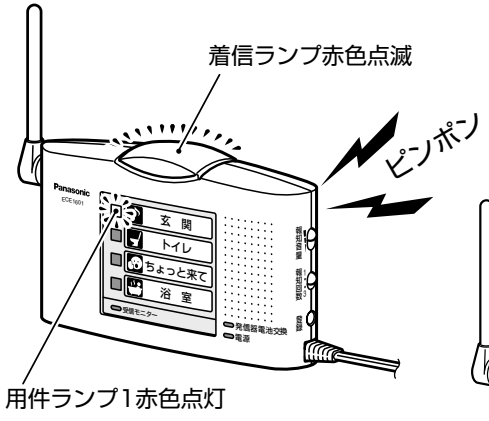
## ❶ 発信器が動作すると

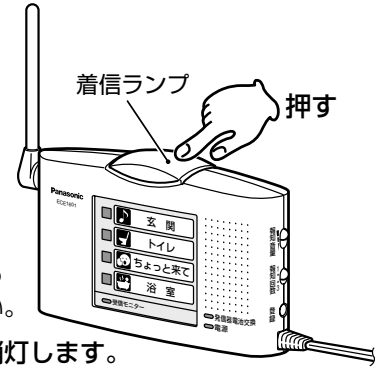
注 ●受信器と発信器の電波の到達距離は、障害物のない場所での水平見通し距離約40mです。
●発信器は登録しないと使用できません。（11～12ページ参照）

## ❷ 音と光でお知らせ

●着信ランプが約3分間赤色点滅する。
●発信器を登録している用件ランプが約3分間赤色点灯する。
●登録した報知音が鳴る。

注 報知音量と報知回数は設定できます。「各部のなまえとはたらき」を参照してください。




●着信ランプと用件ランプを消灯させる場合は、着信ランプを押してください。

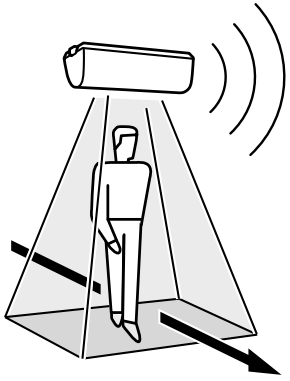
注 押さなくても約3分後に自動的に消灯します。

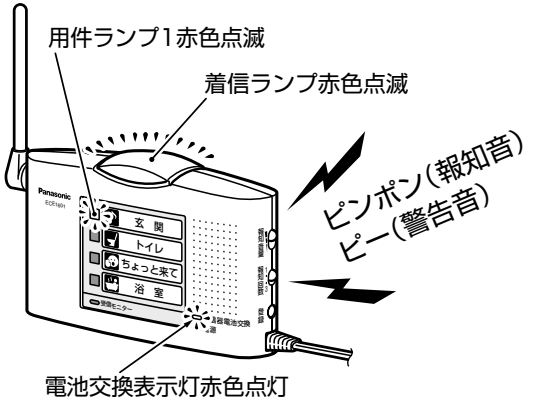
## 電池交換表示が出たときは…

●受信器の電池交換表示灯の赤色点灯と警告音「ピー」音により発信器の電池切れが近いことを知らせます。

注 ●電池が入っていない場合や、完全に電池が切れている場合は表示できません。
●単3形乾電池（アルカリ乾電池使用時）の寿命の目安は1日500回の使用で約1年です。

## ❶ 発信器が動作すると、受信器の電池交換表示灯が赤色点灯する






●電池交換表示灯が赤色点灯し、電池切れの発信器が登録されている用件ランプが赤色点滅する。
●報知音の後に警告音「ピー」音が鳴る。

## ❷ 発信器の乾電池を交換する

（10ページを参照してください。）

## ❸ 電池交換した発信器を動作させると、電池交換表示灯が消灯する

●約3分間、着信ランプは赤色点滅、用件ランプは赤色点灯します。消灯させる場合は着信ランプを押してください。

# 動作確認

●全ての発信器の登録が完了してから、検知範囲内のどこを通過しても発信器の動作表示灯および受信器が正常に動作することを確認してください。

# 仕　様

## ■小電力型ワイヤレスコール 卓上受信器(受信4表示付) (ECE1601P)

| | |
|---|---|
| 電　　源 | AC100V　50/60Hz |
| 消 費 電 力 | 4W |
| 使用周波数 | CH.1(426.0250)MHz<br>CH.3(426.0500)MHz<br>CH.5(426.0750)MHz<br>CH.7(426.1000)MHz<br>の1波<br>※周波数設定スイッチで選択 |
| 電波の到達距離 | 障害物のない場所での水平見通し距離約40m<br>〔周囲環境により異なります。〕 |
| 報 知 音 量 (前方1m) | 3段階切替可能<br>大：約70dB<br>中：約58dB<br>小：約46dB |
| 音　　色 | 報知音：<br>来客報知音 「ピンポン」音<br>用件ランプ1「プルプル」音<br>用件ランプ2「ブー」音<br>用件ランプ3「ピピッ」音<br>用件ランプ4「ポロロン」音 |
| 使用温度範囲 | 0℃～＋40℃ |
| 質　　量 | 約420g |

## ■小電力型ワイヤレスコール 熱線センサー発信器 (ECE1801P)

| | |
|---|---|
| 電　　源 | 単3形乾電池×2本 |
| 動作電圧範囲 | 2.2V～3.5V |
| 消 費 電 流 | 動作時　50mA以下<br>待機時　50μA以下 |
| 使用周波数 | CH.1(426.0250)MHz<br>CH.3(426.0500)MHz<br>CH.5(426.0750)MHz<br>CH.7(426.1000)MHz<br>の1波<br>※周波数設定スイッチで選択 |
| 電波の到達距離 | 障害物のない場所での水平見通し距離約40m<br>〔周囲環境により異なります。〕 |
| 送 信 出 力 | 1mW $^{+20\%}_{-50\%}$ |
| 検 知 距 離 | 最大4m |
| 検 知 速 度 | 0.3m/秒～2m/秒 |
| 検知エリア可変範囲 | ±90° |
| 電 池 寿 命 | 約1年(500回／日)<br>(アルカリ乾電池使用時) |
| 使用温度範囲 | 0℃～＋40℃ |
| 質　　量 | 約140g(電池は含みません。) |



# 保証とアフターサービス

(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください。

### 転居や贈答品などでお困りの場合は…

●修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談センター」へ！
●使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

### ■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

### ■補修用性能部品の保有期間 7年

当社は、この小電力型ワイヤレスコール熱線センサー発信器セットの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ■修理を依頼されるとき

別紙の「異常時の点検一覧表」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

**●保証期間中は**

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

**●保証期間を過ぎているときは**

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

**●修理料金の仕組み**

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

| ご連絡いただきたい内容 | | | |
|---|---|---|---|
| 製　品　名 | 小電力型ワイヤレスコール<br>熱線センサー発信器セット | お買い上げ日 | 年　月　日 |
| 品　　番 | ECE158 | 故障の状況 | できるだけ具体的に |

memo

## 愛情点検　長年ご使用の卓上受信器の点検を!

| こんな症状はありませんか | ●電源を入れても動かないことがある。<br>●こげくさい臭いや異常な音、振動がする。<br>●その他の異常や故障がある。 | このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため、電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。 |
|---|---|---|

便　利　メ　モ　（おぼえのため、記入されると便利です。）

| お買い上げ日 | 年　月　日 | 品　番 | ECE158 |
|---|---|---|---|
| 販　売　店　名 | 電話（　　）　　ー | | |
| お客様ご相談窓口 | 電話（　　）　　ー | | |

パナソニック株式会社
製造元 パナソニック電工株式会社 HA・セキュリティ事業部
〒514-8555 三重県津市藤方1668
© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2008
8A1 J92 00009 M0298-81208A